

私たちの活動や意見を仲間で共有します。  
会費は県と日本平和委員会の活動も支えます。

# 土浦平和の会ニュース

2023年10月15日 第380号

発行：土浦平和の会

事務局：土浦市烏山2-530-296

HP：//tutiraheiva.web.fc2.com/

## 今こそ会員拡大を

# 戦争も核兵器も軍事同盟もない 憲法9条輝く世界を



日本平和委員会は、北海道から沖縄まで全国47都道府県で、草の根から平和を創るために活動しているNGO(非政府組織)です。基礎組織が全国に約500、約1万8000人の会員がいます。1人ひとりの自発的な思いこそ、平和を守り、つくる力の土台だと考えています。「平和について学びたい」「平和のために何かしたい」という一人ひとりの思いを出発点に、多彩な活動をすすめています。

いま、会員の皆さんの一層の奮闘と、この運動を若い世代にバトンタッチする取り組みが急務です。

身近におられるご家族、友人・知人に入会を勧めてください。

※裏面にも案内があります。

## ハマスとイスラエルの双方に

### 武力行使の中止を求める

暴力の悪循環を止め、パレスチナ問題の根本的解決のため国際社会は抜本的努力を

10月11日、日本平和委員会は声明を発表。

「ハマスの無差別攻撃と民間人連行は、いかなる理由があっても許されない国際人道法違反の行為である。同時に、イスラエルの無差別攻撃もまた国際人道法に違反する行為であり、断じて許されない」とし、双方に対し、ただちに暴力の応酬、武力行使の中止を求めるものである。国際社会は、暴力の連鎖を拡大する軍事支援ではなく、双方に武力行使を停止させるための努力に全力をあげるべき、としています。日本平和委員会は、かねてより、パレスチナ問題の解決には、イスラエルが占領地区から速やかに撤退すると共に、パレスチナ人民に対して国家の樹立を含む民族自決権を尊重すること、パレスチナとイスラエルの双方が相手の生存権の承認と平和的共存の原則の下に話し合いで解決する立場に立つことが重要であると主張しています。

## オンライン土浦会場でごいっしょに

### 2023年 日本平和大会

(11月11日～12日開催)

なくそう！日米軍事同盟・米軍基地

土浦会場は11/11開会集会のみ

11月11日(土) 13:00～15:30

会場：ワークヒル土浦 研修室1

「戦争する国」づくりストップ、憲法守れの立場で共同する政党や自治体首長が登場。平和をめざす国際連帯の場として海外ゲストも発信します。全国各地の基地強化や戦争準備の実態と、これを止める市民運動が一同に会します！

#### 【海外ゲスト】

- ・ウクライナ 婦人国際平和自由連盟(WILPF)
- ・韓国・釜山 「平和と統一を拓く人々」(SPARK)
- ・ヨーロッパ 反NATOの運動から

その他、劇団「天然木」など出演

※土浦会場参加は無料です。部分参加もOKです。

※全日程参加のご希望の方はご相談ください。

(有料参加となります)

憲法共同センター次回行動は 10/19

## 10月街頭アピール行動

憲法9条生かした平和外交を！

10月19日(木)

午前10時～ ケーズデンキ真鍋店前

思い思いのメッセージ、うたカードをもちつけて参加ください



憲法共同センター主催の街頭アピール行動は、2020年7月から31回・参加者のべ324人に到達しました。継続は力なり！

# 警戒 わが町土浦周辺の戦争準備



陸自土浦駐屯地内

## その1

安保3文書にもとづく「各施設の強靱化」  
「国土戦場化」想定の基地強化に着手  
1万2636棟を立て替え、5102棟を改修  
(ニュース第374号で詳報)

### 対象施設

- 陸自/■土浦駐屯地 (武器学校・武器教導隊、阿見町)
- 霞ヶ浦駐屯地 (土浦市右舂)
- 朝日分屯地 (関東補給処朝日燃料支処、阿見町)
- 機関/■航空装備研究所土浦支所 (阿見町)

## その2

政府「土地利用規制法」の新たな指定候補に  
土浦周辺もの6施設が指定候補に  
年内にも指定ねらう (前号で詳報)

今回指定された候補地 (180力所中、茨城県分)

- 武器学校 (阿見町)
- 霞ヶ浦駐屯地 (土浦市右舂)
- 朝日燃料支処 (阿見町)
- 霞ヶ浦高射教育訓練場 (阿見町)
- 航空装備研究所土浦支所 (阿見町)
- 百里基地 (小美玉市)

## 【土浦平和の会】土浦市への要望と懇談を計画中です。

現在、土浦平和の会では、土浦市の平和行政に関する要望を検討し、市長との懇談を求める準備作業中です。要望は平和行政全般、「土地利用規制法」などの最近の情勢に関するもの、東海第二原発の再稼働についての市の対応、温暖化対策問題などが予定されています。(あらためてお知らせします)

## 怒

宅配のヤマト運輸が3万数千人もの解雇・雇い止め・契約解消を発表したことが「しんぶん赤旗」をはじめマスコミで大きく報じられています。

10月13日、土浦市にある茨城ベース(県の拠点事業所)で働く女性たちが、全国に先駆けて労働組合(全労連・建交労加盟)を結成したことが大きく報じられました。女性たちはほとんど夜10時~朝6時の間にDM(ダイレクトメール)便の仕分け作業に従事し、その他繁忙時には一般の荷物の仕分けにもかり出されるなど、まさにヤマトの土台を支えている働き手です。

3万余の仕事は郵便局に丸投げされる見込みですが、いま、郵便局ではあふれる仕事に忙殺されており、各地であわててパートを募集していますが、組合員は「経験を要する仕分けで、すぐに郵便局でこなせる仕事ではない」と話しています。

そもそもヤマト運輸は日本を代表する大

企業で、黒字続き、大きな内部留保を蓄えており、大規模人減らしをする理由はありません。

超繁忙期である年末年始をまたぎ、期限の1月末まで働いた人だけに退職慰労金を支給するなど、「再就職の道を閉ざしてこき使った直後に放り出すなど、馬鹿にしている」と怒ります。

クロネコが泣いている・・・

## 私たちがモノ扱いしないで!

ヤマト運輸 土浦で女性たちが労組結成  
大滝 誠 (土浦平和の会理事)

時あたかも、多くの国民が物価高騰に苦しみ、多くの中小企業も必死に耐えて雇用を守っているときに、莫大な利益を上げている

大企業が、いとも簡単に大量首切りを断行するなど許されるものではありません。直ちに開かれる団体交渉で女性たちの声が届くことを願わずにはられません。

ここにも、憲法が求めている平和や国民主権の屋台骨が掘り崩されつつある今の日本の縮図が現れています。こうした権力の横暴があつた悲惨で無謀な戦争につながった歴史を繰り返してはなりません。



【平和の会へのおさそいを。「平和新聞」購読も広げましょう】

- 幅広い年代からの加入を勧めましょう。ご家族・ご近所・友人・知人などにお声かけを
- 会費：月額500円、「平和新聞」(毎月5、15、25日発行)：月額593円(送料含)

